



平成30年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年7月31日

上場会社名 株式会社ルネサンス
 コード番号 2378 URL <https://www.s-renaissance.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 吉田 正昭

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員最高財務責任者 (氏名) 安澤 嘉丞

TEL 03-5600-5312

四半期報告書提出予定日 平成29年8月7日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	10,995	3.2	547	19.2	493	11.0	319	4.6
29年3月期第1四半期	10,658	2.4	678	53.8	554	40.6	334	87.7

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 320百万円 (0.3%) 29年3月期第1四半期 321百万円 (78.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	21.27	21.23
29年3月期第1四半期	22.44	

(注) 平成29年3月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	34,918	11,006	31.5
29年3月期	33,548	9,269	27.6

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 10,995百万円 29年3月期 9,269百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		13.00		15.00	28.00
30年3月期					
30年3月期(予想)		15.00		16.00	31.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	22,900	4.4	1,800	2.6	1,700	7.5	1,000	1.0	67.02
通期	47,100	6.0	4,000	8.6	3,800	8.2	2,200	11.7	147.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期1Q	21,379,000 株	29年3月期	21,379,000 株
期末自己株式数	30年3月期1Q	5,558,420 株	29年3月期	6,458,420 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期1Q	15,018,932 株	29年3月期1Q	14,920,580 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)1ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 経営成績に関する説明	1
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

<経済状況>

当第1四半期連結累計期間(平成29年4月1日～平成29年6月30日)におけるわが国経済は、全体として緩やかな回復基調が続いております。個人消費については、持ち直しの動きが見られるものの、若年層を中心に消費性向の低下が持続し、さらに、世帯主が60歳以上の世帯を中心に物価上昇への懸念から消費の下押し作用も見込まれます。また、海外経済の不確実性や金融市場の変動の影響が懸念されるなど、動向は依然として不透明な状況で推移いたしました。

<業界動向>

フィットネス業界においては、国民一人ひとりの運動意欲や健康増進意識の高まりを背景に、顧客ニーズに特化した新たな小型業態が積極的に導入される等、活発な動きが続く一方で、一般的な複合スポーツクラブの出店は少数に留まっております。フィットネス部門以外では、スイミングスクールの入会者が増加し好調に推移しております。

また、企業においても従業員の健康づくりへの意識が高まるとともに、働き方改革等によって就業後の時間を活用した利用者が増加し、40歳以上の中高年齢層の利用が増加傾向にあります。

<当社グループの状況>

当社グループは、「わたしたちルネサンスは『生きがい創造企業』としてお客様に健康で快適なライフスタイルを提案します。」の企業理念のもと、大型複合スポーツクラブ運営を中心に事業を成長させてまいりました。

昨今は少子高齢化が進んでおりますが、当社グループでは他社に先駆けて高齢者の健康づくりに役立つ多様なサービスへ対応してまいりました。また、小規模や特化型施設の増加等、事業環境変化を踏まえ、2017年度は、2015年度を初年度とする中期経営計画の最終年度として、引き続き、以下の①～③に重点的に取り組んでおります。

- ① スポーツクラブ事業の収益性の強化
- ② 新しい成長の柱を増やす
- ③ 持続的成長を可能とするヒトと組織づくり

当社グループは、事業の将来的な成長のため、積極的な設備投資を実施しておりますが、当第1四半期においても、4月に大型複合スポーツクラブのルネサンス北千住(東京都足立区)、5月に都市型フィットネスクラブの新ブランドとなるコクールルネサンス名古屋JRゲートタワー(名古屋市中村区)をオープンいたしました。また、8月には建替え休館中のルネサンス福岡大橋(福岡市南区)が最新設備を有する地域最大規模の複合スポーツクラブとしてリニューアルオープンいたします。

既存店においては、施設のリニューアルを11施設において実施しました。また、スタジオにホットヨガプログラムに対応するための設備投資を実施し、4月よりホットヨガプログラムを本格的に展開するなど、施設環境の整備と魅力向上に努めました。

新店2店舗については、会員の入会が好調に推移し、また、リニューアルを行った施設においても在籍会員数が増加し、その結果、全社の在籍会員数は405,156名と前年同期比1.6%増となりました。

既存クラブ(新規出店や閉店等を除く、同一条件で比較可能なクラブ)の在籍会員数においては、前年同期比0.4%増となりました。

この在籍会員数の増加を一因として、当第1四半期連結累計期間の売上高は109億95百万円と前年同期比3.2%増加しました。一方、新店3店舗(ルネサンス福岡大橋含む)の開業費用の影響等により、営業利益は5億47百万円(同19.2%減)、経常利益は4億93百万円(同11.0%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億19百万円(同4.6%減)と前年同期に比べ減少いたしました。

なお、当第1四半期連結累計期間は先の開業費用等の影響により前年同期比で減益となることは計画通りであり、通期の業績予想への変動はございません。

また、5月22日開催の取締役会にて、今後のさらなる成長の実現のため、保有する自己株式を活用した資金調達を行うことで、安定的な財務体質を構築することが重要であると判断し、新株予約権の発行を決議いたしました。

本新株予約権は7月13日に全て行使され、行使価額ベースで約36億31百万円の資金調達をいたしました。この新株予約権の発行により調達した資金につきましては、国内外における新規出店投資、将来のM&A・資本業務提携に対応するための資金に充当していく予定です。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

イ. 資産

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ13億70百万円増加し、349億18百万円となりました。これは主に、新株予約権の発行及び当該新株予約権の行使に伴う自己株式の処分に伴い現金及び預金が増加したことにより流動資産合計が10億36百万円増加したこと、新規出店に伴い有形固定資産が増加したことにより固定資産合計が3億33百万円増加したことによるものです。

ロ. 負債

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ3億66百万円減少し、239億11百万円となりました。これは主に、未払法人税等、短期借入金及び賞与引当金が減少した一方、未払費用が増加したことにより流動負債合計が2億87百万円減少し、また、リース債務が減少したことにより固定負債合計が78百万円減少したことによるものです。

ハ. 純資産

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ17億36百万円増加し、110億6百万円となりました。これは主に、新株予約権の発行及び当該新株予約権の行使に伴う自己株式の処分により資本剰余金が8億63百万円増加したことに加え、自己株式が7億65百万円減少したこと、また、親会社株主に帰属する四半期純利益3億19百万円を計上したこと、前連結会計年度末配当金2億23百万円を支払ったことにより利益剰余金が95百万円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の連結業績予想につきましては、本資料の公開時点において、平成29年5月11日公表の第2四半期累計期間及び通期連結業績予想に修正はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,006,627	2,112,911
売掛金	1,241,649	976,272
商品	187,865	223,411
その他	1,747,881	1,908,337
貸倒引当金	△8,537	△9,085
流動資産合計	4,175,486	5,211,848
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,861,629	7,887,283
リース資産(純額)	6,978,719	6,887,816
その他(純額)	4,509,975	3,787,861
有形固定資産合計	18,350,324	18,562,961
無形固定資産	986,661	1,010,897
投資その他の資産		
敷金及び保証金	8,303,384	8,420,750
その他	1,732,590	1,712,307
投資その他の資産合計	10,035,975	10,133,058
固定資産合計	29,372,960	29,706,917
資産合計	33,548,447	34,918,765
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	69,083	85,113
短期借入金	1,800,000	1,300,000
1年内返済予定の長期借入金	2,370,000	2,370,000
未払法人税等	874,460	332,006
賞与引当金	918,292	442,353
資産除去債務	21,724	21,064
その他	3,989,272	5,204,456
流動負債合計	10,042,832	9,754,991
固定負債		
長期借入金	5,110,000	5,110,000
リース債務	6,864,968	6,789,169
退職給付に係る負債	568,388	576,445
資産除去債務	932,981	941,574
その他	759,362	739,753
固定負債合計	14,235,700	14,156,941
負債合計	24,278,533	23,911,933

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,210,380	2,210,380
資本剰余金	2,756,974	3,620,123
利益剰余金	9,799,677	9,895,355
自己株式	△5,495,999	△4,730,099
株主資本合計	9,271,031	10,995,758
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,782	6,719
為替換算調整勘定	7,609	5,951
退職給付に係る調整累計額	△13,509	△13,268
その他の包括利益累計額合計	△1,117	△597
新株予約権	—	11,671
純資産合計	9,269,913	11,006,831
負債純資産合計	33,548,447	34,918,765

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	10,658,377	10,995,546
売上原価	9,424,412	9,846,357
売上総利益	1,233,964	1,149,188
販売費及び一般管理費	555,841	601,393
営業利益	678,123	547,795
営業外収益		
受取利息	6,303	5,592
受取手数料	29,365	24,025
その他	5,160	8,614
営業外収益合計	40,829	38,233
営業外費用		
支払利息	69,719	69,454
為替差損	83,021	3,373
その他	11,391	19,556
営業外費用合計	164,132	92,384
経常利益	554,820	493,644
特別損失		
固定資産除却損	7,215	6,622
災害による損失	4,233	—
その他	81	—
特別損失合計	11,530	6,622
税金等調整前四半期純利益	543,290	487,022
法人税、住民税及び事業税	285,404	262,577
法人税等調整額	△76,908	△95,042
法人税等合計	208,496	167,535
四半期純利益	334,793	319,486
親会社株主に帰属する四半期純利益	334,793	319,486

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	334,793	319,486
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	519	1,936
為替換算調整勘定	△15,542	△1,657
退職給付に係る調整額	1,309	241
その他の包括利益合計	△13,713	519
四半期包括利益	321,079	320,006
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	321,079	320,006
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、当第1四半期連結累計期間において、新株予約権の発行及び当該新株予約権の行使に伴う自己株式の処分を行いました。これにより、その他資本剰余金が863,149千円、新株予約権が11,671千円増加し、自己株式が765,900千円減少しました。

これらの結果、当第1四半期連結会計期間末において、資本剰余金は3,620,123千円、自己株式は△4,730,099千円、新株予約権は11,671千円となっております。